

2021年2月25日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

21世紀金融行動原則「2020年度 環境大臣賞（総合部門）」受賞について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長：長島 巖^{ながしま いわお}）は、「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則（通称：21世紀金融行動原則*1）」より、2020年度の最優良取組事例として「環境大臣賞（総合部門）」を受賞しました。

*1 21世紀金融行動原則ホームページ (<https://pfa21.jp/>)

「21世紀金融行動原則」は、環境省の中央環境審議会（「環境と金融に関する専門委員会」）の提言に基づき、持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関の行動指針です。国内の金融機関288社（2021年1月26日現在）が署名しており、弊社は本原則の起草時から参画し、2011年11月に署名しました。

弊社は、日本における責任投資のパイオニアとして、今後もすべてのアセットクラスでESG（環境・社会・ガバナンス）を考慮することによって、市場全体を活性化し、より安定した、より多くのリターンを社会に還元していくことで、お客さまとともに持続可能な社会の実現を目指して参ります。

弊社の詳しい取り組みの内容については、「[責任投資報告書](#)」をご参照ください。

◆ 受賞名

2020年度 環境大臣賞 総合部門

◆ 取組名称

『日本における責任投資のパイオニアとして、すべての資産で重大なESG課題の解決に向けた取り組みを推進』

◆ 選定理由

- すべてのアセットクラスにESGを組み込み、運用残高（38兆円*2）のすべてで責任投資に取り組んでいる。*2 弊社単体ベース（2020年3月末時点）
- 取り組みを実施するにあたり、役員・幹部によるサステナビリティ委員会を通じて、社内での意識向上を体系的に推進している。
- 海洋プラスチック問題や、生物多様性など、エンゲージメントにおける課題の特定を包括的に進めていることや、また、独自インデックスの開発など先進性においても評価できる。
- 以上から、投資業界全体において、全社的なESG投資のモデルケースとなることを期待して、環境大臣賞として選定する。

以上